

気象通信網整備事業



テレコミュニケーション・タワー

借款概要

承諾額/実行額	4,986百万円/4,971百万円
借款契約調印	1990年2月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1998年5月

事業概要

気象情報システムを整備・更新することにより、台風を含む気象情報の精度を高めるとともに、迅速に気象データや情報をやりとりすることにより、災害の軽減を図ろうとするもの。

評価結果

本事業の目的のうち、情報通信速度の向上については、移動体通信システムとの混信問題等からデータ収集効率が極めて低く、効果は現時点では発現していない。一方、観測精度の向上については、機器の更新・統一化により、適確な気象情報の提供が可能となった。混信の問題については、現在、移動体通信事業者が本気象通信事業と重複使用している周波数帯を使用しない方向でほぼ調整がついており、混信の問題は今後解決する見込みである。

実施機関であるフィリピン気象庁（PAGASA）には運営・維持管理上の予算不足といった問題があることから、効果の持続性のためには実施機関の財務面および組織面での強化が併せて必要である。